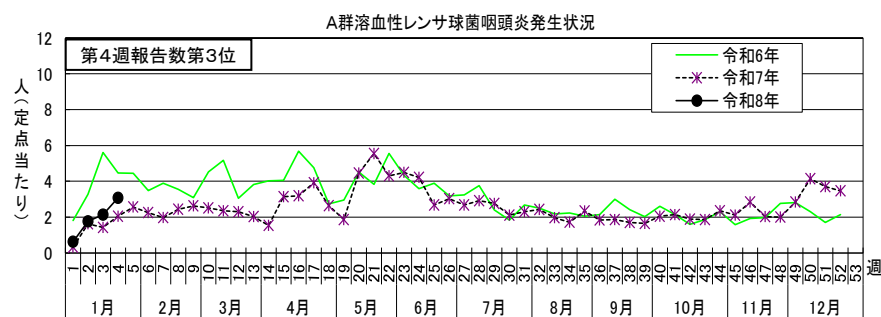
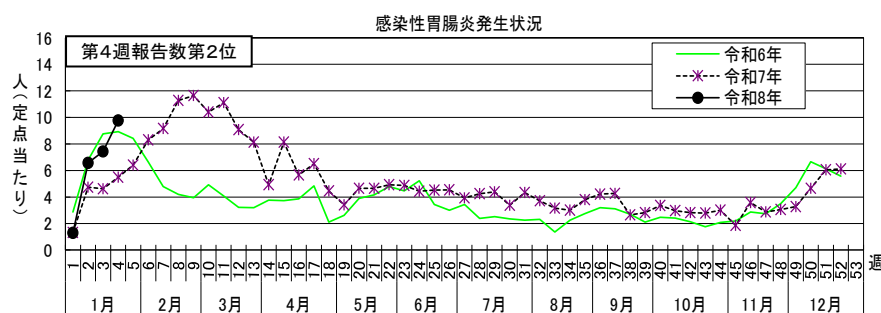
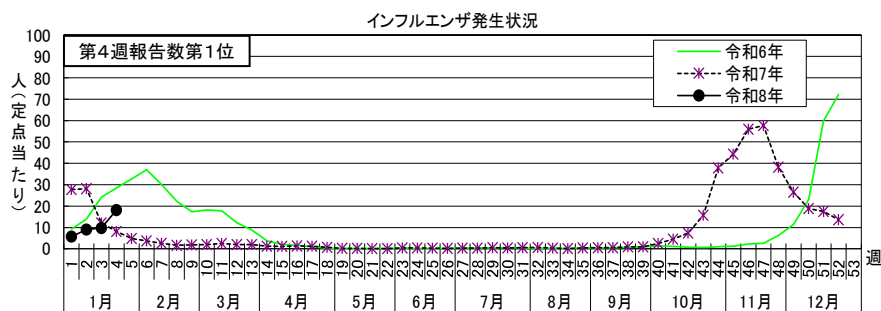


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年1月19日（月）～令和8年1月25日（日）〔令和8年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は18.12人と前週（9.77人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.76人と前週（7.43人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.08人と前週（2.14人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



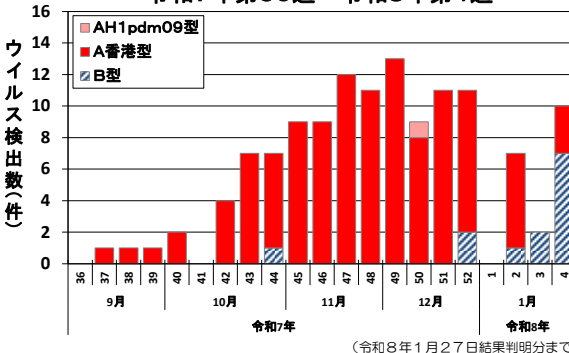
B型インフルエンザの報告数が急増しました！

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和8年第4週（1月19日～25日）に18.12人となり、前週から急激に増加しました。区別では高津区が定点当たり30.22人と最多で、次いで川崎区が24.13人でした。健康安全研究所に搬入された検体からは、令和7年末まではA型が多く検出されていましたが、令和8年以降はB型の検出数が増えています。

本市のリアルタイムサーベイランスにおいても、昨年のインフルエンザの報告の中心はA型でしたが、年始からB型の報告数が増加しています。

A型インフルエンザにり患した後にB型インフルエンザにり患することもあります。引き続き、手洗いやマスクの着用等の基本的な感染対策を心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザウイルス検出状況
～令和7年第36週～令和8年第4週～



川崎市におけるインフルエンザの
リアルタイムサーベイランス医療機関当たり報告数推移
（令和7年9月1日～令和8年1月26日診断分）

